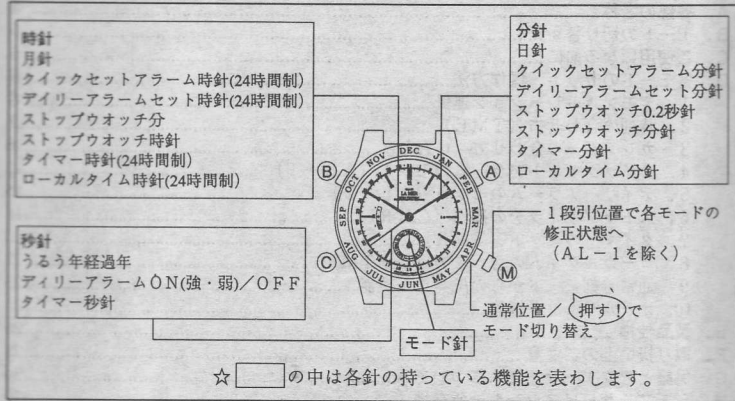


## 目次

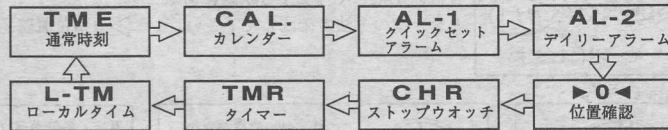
A. 各部の名称.....	4
B. モードの切り替え .....	5
C. ご使用になる前に .....	6
D. 各モードのセット・操作方法.....	8
1. デモンストレーション運針 .....	8
2. 時刻の合わせ方 (TME) .....	9
3. カレンダーの合わせ方 (CAL.) .....	10
4. クイックセットアラームのセット (AL-1) .....	12
5. デイリーアラームのセット (AL-2) .....	15
6. ストップウォッチの操作 (CHR) .....	18
7. タイマーのセット (TMR) .....	20
8. ローカルタイムの合わせ方 (L-TM) .....	22
9. 通常時刻モードからのモニター機能 .....	23
10. オールリセット機能 .....	25
E. 製品仕様 .....	26
F. 取り扱い上のご注意 .....	28
G. 保証とアフターサービスについて .....	36
H. シチズンサービスセンター所在地 .....	39

## A. 各部の名称



## B. モードの切り替え

(M) ボタンを通常位置で **押す!** すると、次の順でモードが切り替わります。



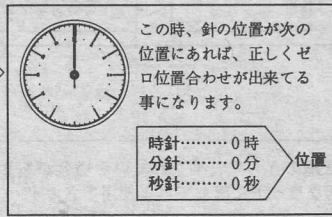
### 使用上の注意

モードボタンが無意識のうちに、押されている場合があります。モード針を良くご確認の上、適切なモードに直して、ご使用下さい!

## C. ご使用になる前に

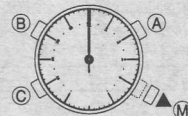


この時計をご使用になる前に、必ず各機能が正しく作動する状態にあることを、次の方法で確認して下さい。 → **ゼロ位置確認**



万一、各針がゼロ位置を示さない場合は、**ゼロ位置合わせ**を行って下さい。

## ゼロ位置合わせ



1. (M) ボタンを1段引きにします。  
(A) ボタンを押して秒針を0秒 (真上)  
(B) ボタンを押して時針を0時 (真上)  
(C) ボタンを押して分針を0分 (真上) 位置に合わせます。
2. (M) ボタンを確実に通常位置へ押し込みます。これで、ゼロ位置合わせは完了です。

☆(A)、(B)、(C)ボタンいずれも押し続けられれば早送りができます。

☆ゼロ位置は、時計に強い衝撃が加わるとズレる場合があります。その時はゼロ位置を正しく合わせ直して下さい。

☆時々、ゼロ位置が正しく合うかどうか確認して下さい。

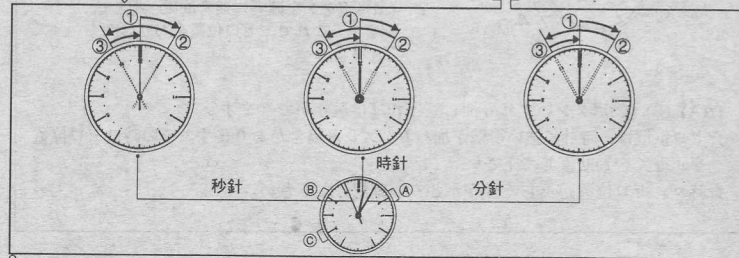
## D. 各モードのセット・操作方法

### 1. デモンストレーション運針

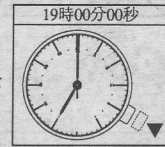
(A)、(B)、(C)いずれかのボタンを1回押すと、時針・分針・秒針の各針が下図の様に動いた後、0位置で停止します。



秒針.....①+5秒→②-10秒→③+5秒  
分針.....①+5分→②-10分→③+5分  
時針.....①+1時間→②-2時間→③+1時間



### 2. 時刻の合わせ方(TME)



へ合わせます

#### セットの方法

このモードでは、修正時のみ  
24時間表示です

(M) ボタン1段引き



24時間表示の見方  
(例):  
12時間制 24時間制  
6時位置→12時位置  
7時位置→14時位置

☆時・分・秒はそれぞれ単独で修正できます。

☆(B)、(C)ボタンどちらも押し続けると、それぞれ時・分針の早送りができます。



・時針も連動しますが時の桁上げはされません。

秒帰零  
(A) ボタンを押した時の秒針が0~29秒...分は元の状態のままです。  
30~59秒...分は1分加算されます。

### 3. カレンダーの合わせ方 (CAL.)



#### セットの方法

(M) ボタン  
1 段引き

年針 (うるう年経過)

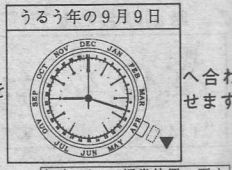
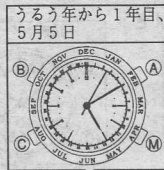
月針

日針

うるう年早見表から、あらかじめ今年がうるう年から何年目に当たるか確認します。

0 時位置…うるう年    2 時位置…+2 年  
1 時位置…+1 年    3 時位置…+3 年

☆年、月、日はそれぞれ単独で修正できます。  
☆(B)、(C)ボタンどちらも押し続けると、それぞれ月・日針の早送りができます。



へ合わせます

(M) ボタン通常位置へ戻す

### ☆カレンダー月末無修正機能

この時計のカレンダーは月末、及びうるう年の際に修正する必要がありません。通常の使用では完全にカレンダー無修正で使用できます。

(例)

- ・月末無修正：11月30日→12月1日へ自動修正
- ・うるう年無修正：
  - 2月29日（うるう年）→3月1日へ自動修正
  - 2月28日（平年）→3月1日へ自動修正

### うるう年早見表

L.Y	1988	L.Y	1992	L.Y	1996	L.Y	2000	L.Y	2004	L.Y	2008
1	1989	1	1993	1	1997	1	2001	1	2005	1	2009
2	1990	2	1994	2	1998	2	2002	2	2006	2	2010
3	1991	3	1995	3	1999	3	2003	3	2007	3	2011

＜表の見方＞ L.Y.を示す年がうるう年で、1、2、3はうるう年からの経過年数を示します。

(例) 1992年はうるう年、1993年はうるう年から1年目になります。

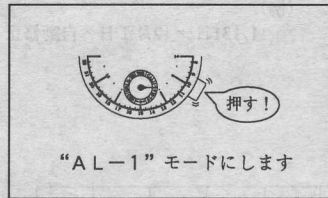
### ☆非存日自動修正機能

(M) ボタンを通常状態に戻すことにより、翌月の1日になります。

(例)

- ・11月31日→12月1日へ自動修正

#### 4. クイックセットアラームのセット(AL-1)



アラームOFF状態では、時・分・秒針共に現在時刻表示です。従って、現在時刻から簡単に目的の時間（アラームを鳴らしたい時間、最大23時間59分後）へアラームセットができます。

アラームが1回鳴り終ると、アラームセットは自動的に解除されて、時・分・秒針共に現在時刻表示に戻ります。鳴り時間は10秒間です。

#### セットの方法

このモードでは全て時針は24時間表示です



現在時刻17時10分



20時15分

にアラームを鳴らす

サウンドモニター

アラームOFF時に  
(A) ボタンを押すと、  
5秒間鳴ります。



☆時・分はそれぞれ単独で  
修正できます。

☆(B)、(C)ボタンどちらも押し続けると、  
それぞれ時・分針の早送りができます。

時針

分針

クイックセットアラームオートON

・分針単独修正のため時の  
桁上げはされ  
ません。



・アラームON状態  
秒針0秒位置で停止  
・アラームOFF状態  
現在時刻表示

☆クイックセットアラームオートON機能  
時・分針どちらでも修正を行なうと同時に、秒針が、0秒位置まで動き停止してアラームONとなります。

クイックセットアラームキャンセル

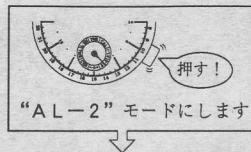


クイックセットアラームがON状態の時  
(A) ボタンを押すと、時・分・秒針共に現  
在時刻表示となりクイックセットアラーム  
はOFFになります。

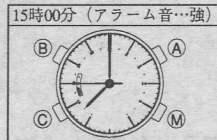
☆クイックセットアラームをセット  
する時は、(M) ボタンを1段引  
きする必要はありません。ク  
イックセットアラームモードに  
変更したら直接 (A) 及び(B)  
ボタンを押してアラームセット  
できます。

## 5. デイリーアラームのセット(AL-2)

アラーム時刻を1度セットすると、「目覚し時計の様に」毎日同じ時刻に鳴らすことができます。鳴り時間は15秒間です。アラーム音は、2つのうちどちらか好みの音が選択できます。



毎日



にアラームを  
鳴らす

(M) ボタン通常位置へ戻す

このモードは24時間表示です

(M) ボタン1段引き

ディレイアラームオートON



分針



・分針単独修正の為時の  
桁上げはされません。

(M) ボタン通常位置

☆時・分・アラームON(強・弱)/OFFはそれぞれ単独で修正できます。

☆(B), (C)ボタンどちらも押し続けると、それぞれ時・分針の早送りができます。

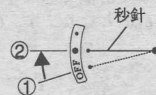


・(A) ボタンを押せばサウンドモニターできます。

- ・ 1回押し...強4回、弱4回 (8秒間鳴ります)
- ・ 2回押し...弱4回 (4秒間鳴ります)
- ・ 3回押し...サウンドモニターストップ

## ☆デイリーアラームON機能

(M) ボタンを1段引きにすると同時に秒針が②位置へセットされアラームONとなります。

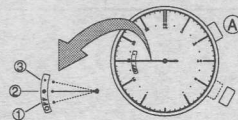


アラーム音選択機能

及び

アラームキャンセル

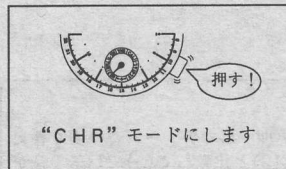
(M) ボタン1段引き



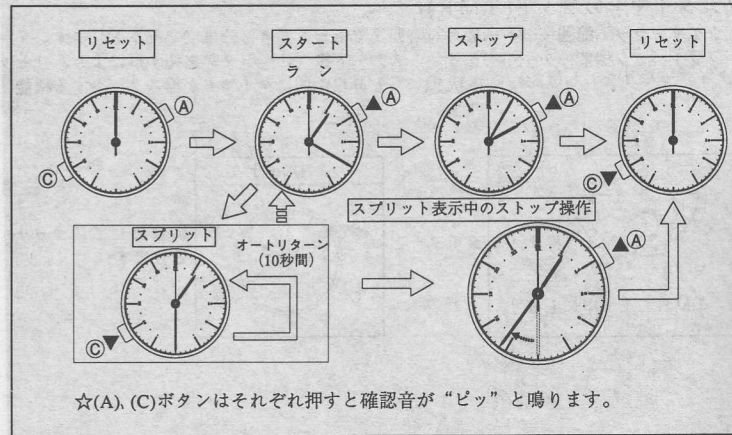
- ・ (A) ボタンを押す事でアラーム音の切り替えができます。(②と比較して③では若干音が弱くなります。)
- ・ アラームのキャンセルは (A) ボタンを押して秒針を①~③の必要な位置へセットします。

## 6. ストップウォッチの操作(CHR)

ストップウォッチ計測範囲…最大24時間まで計測できます。計測は1秒単位で行います。ただし計測時間60分未満は0.2秒単位計測となります。(24時間計測後、自動的にストップし、リセット状態となります。)

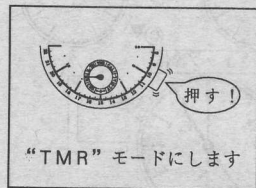


指針	計測が60分未満の時	計測が60分以上の時
秒針	0秒位置で停止	1秒・計測
分針	0.2秒計測	分・計測
時針	分・計測	時・計測

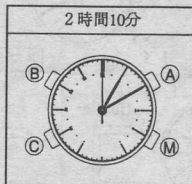


## 7. タイマーのセット(TMR)

- ・タイマーセット範囲……………最大24時間までセットでき1分単位でセットします。
- ・フライバック機能……………タイマースタート後(C)ボタンを押す事により、リセット状態にもどり自動的にタイマーが再スタートする機能です。



タイマーを



に合わせてスタート  
させます

このモードは24時間表示です

(M) ボタン通常位置へ戻す

タイムアップ

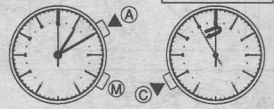
5秒間鳴ります

タイマーセットは  
(M) ボタン1段引き



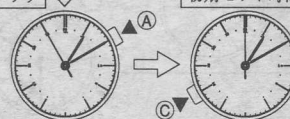
スタート

フライバック



ストップ

初期セット時間



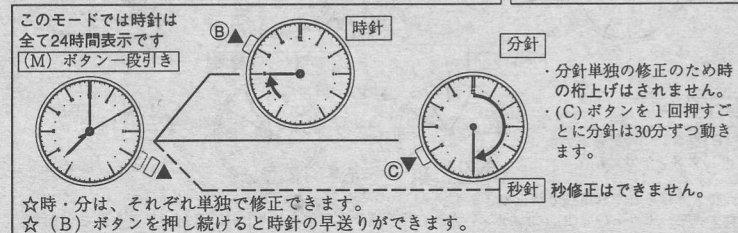
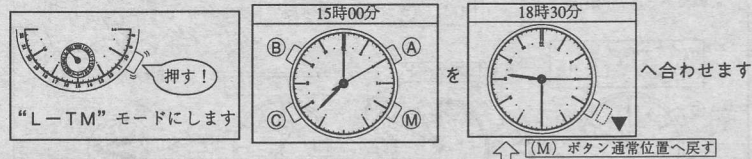
タイマーセット

- ・(B)ボタン…時針修正
- ・(C)ボタン…分針修正

☆時・分はそれぞれ単独で修正できます。

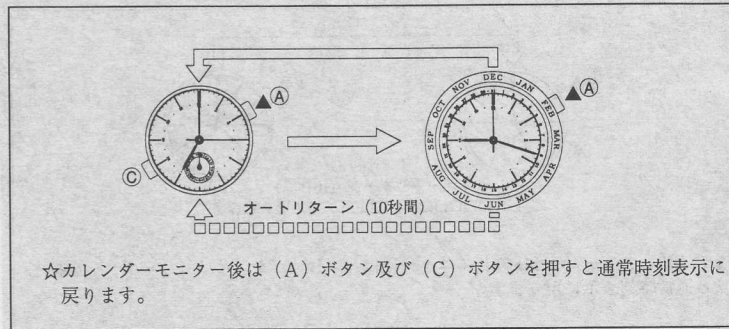
☆タイマーセットの時(B)、(C)ボタンいずれも押し続けると、それぞれ時・分針の早送りができます。

# 8. ローカルタイムの合わせ方(L-TM) (ローカルタイムとは、現地時刻の事です) 海外出張時等現地の時刻に合わせてデュアルタイムとして使用できます。



# 9. 通常時刻モードからのモニター機能

TMEモード → カレンダーモニター 通常時刻モードから (A) ボタンを  
押す事によりカレンダー表示をモニターする事ができます。



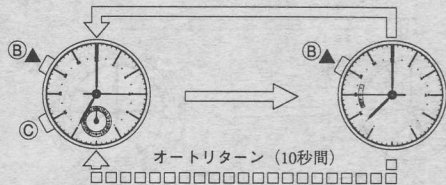
TMEモード



デイリーアラームセット時刻モニター

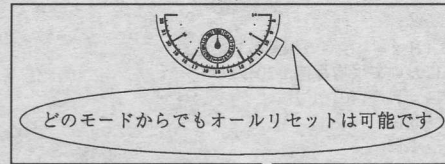
通常時刻モードから

(B) ボタンを押す事によりデイリーアラームセットの時刻表示をモニターする事ができます。



☆デイリーアラームセット時刻モニター後は、(B) ボタン及び (C) ボタンを押すと通常時刻表示に戻ります。

## 10. オールリセット機能



オールリセットは電池交換後あるいは、時計が異常動作した時に行います。

### オールリセットの操作

- 1) (M) ボタンを1段引きにします。
- 2) (A)、(B)、(C) ボタンを3つ同時に2秒以上確実に押し続けます。

・(A)、(B)、(C) ボタンを離すと、“ピーッ”というアラーム音と共に、時・分・秒針が微妙に動きます。以上が確認できましたら (M) ボタンを通常位置へ戻します。そして、ゼロ位置確認モード (“0” モード) でゼロ位置合わせを行ってください。(ゼロ位置合わせ参照)



## E. 製品仕様



1. 型式：アナログクォーツウオッチ多針
2. 水晶振動数：32,768 Hz (Hz=1秒間の振動数)
3. 時間精度：常温(5℃～35℃)において平均月差±20秒以内
4. 作動温度範囲：-10℃～60℃ (14°F～140°F)
5. 変換機：2極ステップモーター (3個)
6. 使用IC：C-MOS-LSI 1個
7. 時間調整：DFC (調整端子なし)
8. 付加機能：
  - ・指針表示式カレンダー  
年(うるう年識別)、月、日、(うるう年識別を除いて早修正可能)  
月末、うるう年無修正
  - ・アラーム1 (クイックセットアラーム)  
最大セット範囲：現在時刻の次の正分より23時間59分後まで1分単位セット
  - ・アラーム2 (デイリーアラーム)
  - ・ストップウオッチ  
最大計測：24時間1秒単位計測  
(ただし計測は60分未満は0.2秒単位計測)

- ・タイマー  
最大セット範囲：24時間、1分単位セット
- ・ローカルタイム  
時・分 (30分単位でセット、秒修正不可)

9. 使用電池：小型銀電池1個  
電池番号：280-44 (SR927W)  
電池寿命：約2年  
条件：アラームトータル 25秒/1日  
(アラーム1：10秒)  
(アラーム2：15秒)  
タイマー 60分1回/1日  
ストップウオッチ 60分1回/1日

## F. 取扱い上のご注意

### 1. 防水性について（お確かめください）

	裏 ぶ た	文 字 板
非 防 水	—	—
日常生活用防水	 この文字が表示 されています。	—
日常生活用 強化防水 （5気圧防水） （10気圧防水）		






\* 日常生活用防水及び日常生活用強化防水の場合ケース裏ぶたにWATER RESISTと表示してあります。

\* 日常生活用強化防水（5気圧防水、10気圧防水）の場合、文字板にWATER RESIST \*\*\*と表示してあります。（一部デザイン上の都合で文字板上に表示のないものもあります）

\* 5気圧防水  
50あるいは5 bar

\* 10気圧防水  
100あるいは10barと表示されています。

※リュウズは常に押し込んでご使用ください。

					
	洗顔や雨などにより一時的にかか に水滴。	水仕事・水 泳・洗車・ ヨット・水上 スキーなど。	スキndaイ ピング（素 もぐりなど の潜水）	スキューバダ イピング（ボ ンベを用いる 潜水）	水滴がつい た状態での ボタンの操 作。
非 防 水	×	×	×	×	×
日常生活用防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化 防水（5気圧）	○	○	×	×	×
日常生活用強化 防水（10気圧）	○	○	○	×	×

## 海で泳いだ後には

- ・時計は真水でよく洗い、海水などによるサビがでないようにしてください。
- ・洗ったあとはよく拭いてください。



時計の内部にも多少の湿気が有りますので、外気が時計内部の温度よりも低い時にはガラス面が曇る場合があります。曇りが一時的な場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合はお買い上げ店、又はシチズン取扱い店にご相談ください。

## 2. 温度について



直射日光にさらしたり、高温になる所に長い間置かないでください。

\*故障の原因になったり電池寿命が短くなります。



寒い所に長く置かないでください。

\*多少遅れが生ずることがありますが腕につければもとの精度にもどります。

## 3. ショックについて



ゴルフやキャッチボール程度のショックでは影響を受けません。



床面へ落とすなどの激しいショックはあたえないでください。

## 4. 磁気について



テレビ・ステレオなど家庭用電気製品による影響はありません。



磁石には近づけないでください。磁気健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア・電動マッサージ台等、磁気に近づきますと一時的に進み遅れがあります。この場合は時刻修正をしてください。

## 5. 化学薬品・ガス・水銀について



化学薬品・ガスの中でのご使用はおさけてください。

シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・トイレ用洗剤・接着剤等）が時計に付着しますと変色、溶解、ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また体温計等に使用されている水銀に触れたりしますとケース・文字板・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

## 6. 皮バンドについて

防水機能を有した時計で皮バンド付きの時計は、取扱いにご注意下さい。水の中で使う事が多い場合は、脱色、接着はがれなどの不具合を起こす場合がありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製又はゴム製）にお取り替えの上、ご使用下さい。

## 7. 時計は清潔に

- ケース・ガラスについた汚れや水分は柔らかい布で拭きとってください。
- バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れをそのままにしておきますと体質上皮膚の弱い方はかぶれる場合があります。その状態での使用はすぐに中止してください。
- 又、ワイシャツなどの衣類の袖口を鉄サビによるシミで汚すことがありますので、サビの原因になる汗や埃などの気づかぬ汚れに対してもご注意の上常に清潔にしてご使用ください。
- バンドは多少余裕をもたせ通気性を良くしてご使用ください。  
(指一本入る位が適当です。)
- 時々汚れを取りご使用ください。  
ご使用の間には、ケースとリュウズの間にゴミや汚れが付着して、リュウズが引き出しにくくなることがあります。リュウズが押し込まれた状態で時々リュウズを空回らせてください。

## 〔金属バンド〕

石けん水等をつけた歯ブラシで部分洗いしてください。

## 〔皮バンド〕

表側は柔らかい乾いた布で軽く拭き取り裏側はアルコールでしめした布で汚れを取ってください。

## 〔プラスチックバンド／ゴムバンド〕

水で汚れを洗い落としてください。

(溶剤類の使用は、変質の恐れがありますので避けてください。)